

<替え歌>

「修学旅行に行くの」
 曲：「地上の星」 作詞：
 三島駅に集合 新幹線に乗る
 みんなどこへ行くの？
 修が一く旅行に行くの
 京都駅についた タクシーに乗ろうよ
 みんなどこへ行くの？
 機関一車館行くだよ
 オルゴール館へ行く ひばり館へ行く

◇指導方法

- ・ 学級活動で、替え歌の曲を話し合っ決めて。
- ・ 音楽係を決め、替え歌の歌詞を考える。
- ・ 帰りの会や修学旅行の学習時、当日の式で歌う。

<触るしおり>



◇指導方法

- ・ 自立活動で、行程や目的地の順に毎時1枚ずつ作成する。
- ・ 目的地により、素材を変える。
 雅楽器博物館→琵琶→ダンボール紙に輪ゴム
 二条城→鷲張りの廊下→小型プーブクッション
- ・ 触りながら行程を確認する。

<拡大のしおり>

東寺
 本名 教王護国寺 796年
 五重塔(国宝)高さ57メートル。
 日本最大の塔。薬師三尊と十二神
 将が有名。弘法さんと呼ばれる。

- ・ 総合的な学習の時間で、目的地についてインターネットで調べる。
- ・ 音声ソフトとワープロソフトを用いて、目的地毎にコメントを書く。
- ・ 印刷し製本する。
- ・ 読みながら行程を確認する。

◇指導のねらい

- ・ 修学旅行の行程や目的地について知り、見通しをもって修学旅行に参加する。
- ・ 視覚障害の状態に応じて、聞いたり触ったり見たりして、修学旅行の学習に主体的に取り組む。

◇指導の評価

- ・ 行程や目的地を覚えにくいですが歌が大好きな生徒は、毎回替え歌を歌うことにより、歌詞を覚えることができた。当日、「〇〇の後は、どこへ行く？」と尋ねても、替え歌を歌うことにより、次の目的地を答えることができた。
- ・ 触ることが苦手な生徒は、修学旅行を楽しみにしていることもあって、触るしおりに積極的に参加した。素材の違いを手指で触って確かめたり音を出したりして、活動を楽しんでいた。「次はどこ？」とページをめくって触っていた。
- ・ 普通の文字では、弱視レンズや拡大読書器を使わなければ読めない生徒は、拡大のしおりを使うことにより、当日も弱視レンズを使わずにしおりを読むことができた。パソコンは、音声ソフトと拡大ソフトを用いてインターネットやワープロ機能进行操作している。修学旅行という興味ある活動なので、操作スピードが向上した。
- ・ 4人4様の学級であるが、それぞれ行程や目的地を覚えて、思い出に残る修学旅行を楽しむことができた。